

インターネット上の危険から 子供たちを守るために



ガイド ライン

・奥州市スマートフォン等使用のガイドライン

長時間利用者が急増！
コミュニケーションアプリの利用率が急増！

トラブル 事例

・SNS端末等に関する未成年のトラブルの事例

- 事例1 無料通話アプリでの悪口や仲間外れ
- 事例2 スマホの過度な使用による日常生活への支障
- 事例3 SNS やネットで知り合った人による犯罪被害
- 事例4 手軽にお小遣いを稼ごうと思ったら危ない目に遭う

対 策

・子供たちを守る3つのポイント

適切なインターネットの利用
家庭のルールづくり
フィルタリング設定

【奥州市スマートフォン等使用ガイドライン(保護者向け)】

【使用時間の管理】

お子さんのスマートフォン等の使用時間を規制し、学業や心身の健康に影響が出ないように管理しましょう。

【オンライン安全対策】

お子さんが SNS やオンラインゲームを安全に利用できるよう、個人情報の管理やフィルタリング設定等を行い、不適切なサイトへのアクセス禁止などの対策をしましょう。また、オンラインでのいじめや詐欺の被害者にも加害者にもならないように、声をかけましょう。



【定期的なコミュニケーション】

定期的にお子さんとスマートフォン等の利用について話し合う時間を設け、お互いに理解を深めることが大切です。問題が発生した場合に、お子さんが相談をしやすい関係づくりに努めましょう。

【健康管理】

長時間のスマートフォン等の利用は、視力低下や姿勢の悪化、依存のリスクを高める可能性があります。適度な休憩を促し、心身の健康に気を付けて使用するように伝えましょう。



【睡眠時間の確保】

スマートフォン等の使用が睡眠時間に影響を及ぼさないよう、就寝前には使用しないことやスマートフォン等を自室に持ち込まないなど、家庭内で約束事を決めましょう。



スマートフォン等は便利なツールですが、責任ある利用が求められます。自身の行動に責任をもつ意識を育て、トラブルの未然防止に努めましょう。お子さんの健全なスマートフォン等の利用をサポートしていきましょう。



SNS の利用でこんなトラブルが...

事例1 無料通話アプリでの悪口や仲間外れ

クラスの仲良し数人でやっているグループトーク。いつも通りの何気ない会話をしていたつもりが、突然無視され一方的にグループから外され、いじめに発展。とうとう学校に行けなくなってしまった。



大切なことは、直接「話す」とアドバイス、未然防止策は子供との密なコミュニケーション！

事例2 スマホの過度な使用による日常生活への支障

無料通話アプリで友達とのメッセージ交換に夢中になり、親が寝たあとも夜遅くまでスマホを使う毎日。ある日、担任の先生からの電話で、遅刻や授業中の居眠りについて知らされ、問い詰めたら事実が発覚。



親子でしっかりと話し合い、利用のルール作りをしよう！

事例3 SNS やネットで知り合った人による犯罪被害

SNS で知り合った人が、同じバンドのファンだと知って盛り上がった。ある時、「ライブのチケットが余分にあるから一緒に行こう！」と誘われ、待ち合わせ場所に行ってみると、SNS の写真とはまったく違う男の人だった。無理やり車に乗せられそうになった。



巧妙な手口により相手を信頼させ、犯罪行為におよぶケースがあることを理解させる！画像や動画の扱い方や、安易なやりとりによる危険性について確認しよう！

事例4 手軽にお小遣いを稼ごうと思ったら危ない目に遭う

SNS 上で、アルバイトや小遣い稼ぎの広告を見つけた。「簡単な荷物運びで 20 万～100 万円のホワイト案件」と書かれていたので、早速 DM をして連絡をとった。登録と身分保証のためと称し、個人を特定する情報を要求され、教えてしまった。



総務省 HP

「上手にネットと付き合おう！」

闇バイト等の犯罪に関わってしまう可能性があるので、怪しい広告にだまされない！個人情報を送信しない！

○ 情報モラルって何？ 適切なインターネットの利用？ フィルタリングはどうすれば？

情報モラルもフィルタリングも、子供をトラブルから守る大切な知識です。学校や地域で開催する研修会などに参加することで、正しい対処法を学び、適切な対応に努めることができます。積極的に参加し、子供たちをトラブルから守りましょう。

確認

インターネットや携帯電話、ゲーム機等の利用が多くなってきた今、それらを通して発生する子供たちの様々なトラブルやその予防に対して、第一義的な責任をもつ必要があるのは保護者です。

子供たちを守る3つのポイント

◆ 適切なインターネットの利用

○新しい機器を持たせる前、
持たせ始めが肝心



何のために必要なのか、
どのように使うのか、親子で話し合しましょう。

◆ 家庭のルールづくり

SNS やネット利用の危険性とルールづくりの必要性を確認したうえで、一緒に話し合いながら、ルールをつくります。ルールがしっかりと守られているか定期的に確認します。

※ ルールが守れなかった時の対応も確認しておきます。

- 利用する場所や時間帯を決める。
- パスワードは、保護者が管理する。
- 名前、顔写真、学校名などは書き込まない。
- 友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない。
- 困った時は、すぐに保護者に相談する。
など…

◆ フィルタリング設定

保護者が使用している機器（フィルタリングなし）を無防備にそのまま使わせることはお勧めできません。フィルタリングにより、お子様が危険な目に遭うリスクを減らすことができます。

フィルタリングのメリット

- ①有害情報、危険性のあるサイトにアクセスさせないことができるため、トラブルを回避できます。
- ②不適切なサイトへアクセスできないため、信頼のおけるサイトでの情報収集ができます。
- ③携帯型ゲーム機・音楽プレイヤーなどにも設定して、トラブルを回避することができます。
- ④保護者の許可設定で特定のサービスはフィルタリングを外すことができます。

- 「青少年インターネット環境整備法」H29.6改正により販売者は基本的にフィルタリングをする義務を負う
- フィルタリングレベルを選んだり、利用したいサイト・アプリごとの許可（追加）をしたりできます。

全国でネットトラブル・被害にあった子供の9割以上がフィルタリング未設定です。
(令和7年3月の調査結果 警察庁「令和6年における少年非行及び子供の性被害の状況」より)

情報の収集や相談はこちらまで！ ※学校以外の相談先等の一例です

国や警察機関

- 情報：総務省
「安心・安全なインターネット利用ガイド」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/
- 相談：岩手県警察本部サイバー犯罪対策室
TEL 019-653-0110
- 相談：奥州警察署 生活安全課
TEL 0197-25-0110

県・市の相談機関

- 奥州市教育研究所（学びと心の指導員）
TEL 0197-35-2111（内線 2464）
- 奥州市教育委員会 学校教育課
TEL 0197-35-2111（内線 2432）
- 一関児童相談所
TEL 0191-21-0560